

先住民族国際シンポジウム

アイヌ文化復興に向けて ～ニュージーランドから学ぶこと～

2020年4月の一般公開に向け、アイヌ文化の復興等に関するナショナルセンターとなる民族共生象徴空間（象徴空間）の整備が北海道白老町において進められています。

象徴空間の意義やアイヌ文化等の魅力を共有し、国際的な協力体制の構築を図るとともに、広く一般にアイヌ文化復興の動きとその理解の深化を図るため、アイヌの方々やニュージーランドからマオリの方々をお招きして、シンポジウムを開催します。

※写真：ポロト湖畔と伝統的家屋（チセ）提供：（一財）アイヌ民族博物館

日時・場所

〔日 時〕 平成29年 **11月25日**（土）

13:30～16:00（13:00開場）

〔場 所〕 STVホール（札幌市中央区北1条西8丁目1-1）※市営地下鉄東西線 西11丁目駅 徒歩5分

プログラム

○主催者挨拶・来賓挨拶

○第1部 パネルディスカッション

「アイヌ文化復興に向けて～ニュージーランドから学ぶこと～」

○第2部 先住民族交流

「先住民族文化の相互交流」

アイヌの古式舞踊、マオリの伝統的舞踊の紹介等

※出演者等については、裏面をご覧ください。

お申込方法

（事前申込が必要です）

裏面の応募方法にてお申し込みください。

申込締切日 平成29年11月17日（金）

定員
400名

入場
無料

主 催：内閣官房アイヌ総合政策室、国土交通省
共 催：札幌テレビ放送株式会社（STV）
後 援：北海道、ニュージーランド大使館

当日のプログラム(予定)

13:30～ 主催者挨拶・来賓挨拶

13:40～ 第1部 パネルディスカッション

テーマ『アイヌ文化復興に向けて～ニュージーランドから学ぶこと～』

○コーディネーター

佐々木史郎 氏 (国立アイヌ民族博物館設立準備室主幹)

○パネリスト

北原次郎太 氏 (北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授)

八幡巴絵 氏 (一般財団法人 アイヌ民族博物館学芸係長)

ウィル・フラヴェル 氏 (ラザフォード高校マオリ学部長)

ジョシュア・ワレインガ 氏 (マオリ・地区評議員)

平井裕秀 (内閣官房アイヌ総合政策室長)



15:20～ 第2部 先住民族交流

テーマ『先住民族文化の相互交流』

アイヌの古式舞踊、マオリの伝統的舞踊等の披露

【応募方法】 インターネット、はがき、FAXのいずれかでご応募ください。

- 1 インターネットでお申し込みの場合は、東武トップツアーズ(株)のホームページ(下記URL参照)にアクセスし必要事項を入力の上、ご応募ください。
- 2 はがきでお申し込みの場合は、①氏名(ふりがな)、②郵便番号・住所、③電話・FAX番号、④参加希望人数、⑤メールアドレス(任意)を記載の上、下記郵送先まで郵送ください。
- 3 FAXでお申し込みの場合は、専用応募申込書に必要事項を記載の上、下記FAX番号まで送信ください。

郵送先：〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-5-25

東武トップツアーズ(株)東京国際事業部 第2営業部 行

TEL：03-5348-3500 (担当 大江・斉藤) 営業時間 平日9:00～18:30 土日祝日休

FAX：03-5348-3799

URL：<https://conv.toptour.co.jp/shop/evt/ainu-symposium/>

※ 応募に関する個人情報は、当シンポジウムの運営目的に使用するものであり、主催者が安全に管理し保護を徹底します。法令に基づく場合などを除き、第三者に開示・提供することはありません。

○「先住民族国際シンポジウム」FAX専用応募申込書

氏名	(フリガナ)		
住所	<input type="checkbox"/> 自宅	<input type="checkbox"/> 勤務先	〒
会社名	(参加希望人数 名)		
電話番号		FAX	
メールアドレス			

※東武トップツアーズ(株)は、本シンポジウムの運営の委託を受けている会社です。

民族共生象徴空間の概要

- アイヌ文化の復興等に関するナショナルセンター
 - ・ アイヌ文化復興・創造の拠点
 - ・ 国民の理解を深めるための拠点
 - ・ アイヌに関するネットワークの拠点
- 北海道白老郡白老町若草町のポロト湖畔に整備
- 2020年4月24日（金）オープン予定
- 年間100万人を超える来場者を目標
- 「民族共生象徴空間」の主要施設
 - ・ 国立アイヌ民族博物館
 - ・ 国立民族共生公園
 - ・ 慰霊施設



民族共生象徴空間周辺図

